

3月 3-9 日

格言 3 章

[8 番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1 分) 竹林 直毅 | 伊藤 勇一

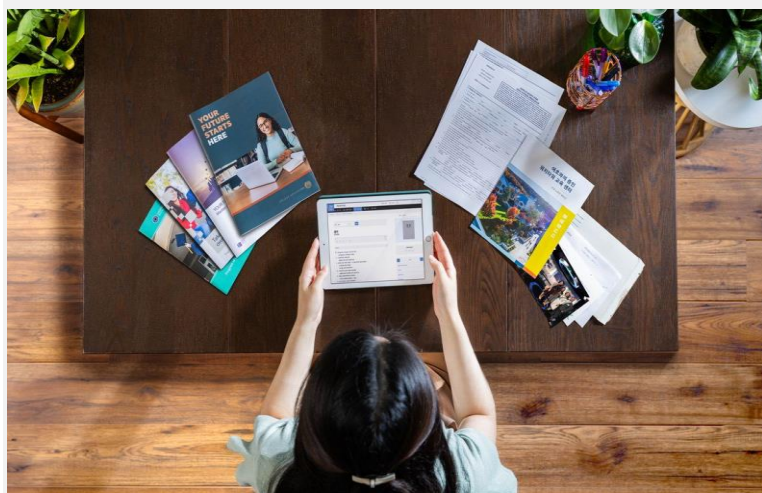
神の言葉の宝

1. エホバへの信頼を表す (10 分) 長谷川瑛一

自分ではなくエホバに頼る。 ([格 3:5](#)。 [イ解 記事 14 4-5 節](#))

エホバの導きを求め、その導きに従うことにより、エホバへの信頼を表す。 ([格 3:6](#)。 [イ解 記事 14 6-7 節](#))

自信過剰にならない。 ([格 3:7](#)。 [校 76 ページ 5 節](#))



考えてみよう 「生活のあらゆる分野で、エホバの導きを求めているだろうか」。

2. 宝石を探し出す (10 分) 水品 安章

[格 3:3](#) 揺るぎない愛と忠実さ(*真実さ)を手放してはならない。それを首に結べ。心に書き記せ。

揺るぎない愛と忠実さを首に結び、心に書き記すためには、どうすればよいか。 ([塔 06 9/15 17 ページ 7 節](#)) わたしたちは愛ある親切と真実を高く評価すべきです。そして、非常に貴重な首飾りをつける時のように、それらの特質を人の目につくようにしなければなりません。愛ある親切と真実を心に刻み、自分にとってなくてはならないものとする必要もあります。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。 (3:28) は与えることを先延ばしにすべきでないこと教えていて、宣教でもいつもできる限りの援助をする態度を保ち、機会を失わない大切さを教え

てくれているように感じた。例えば最初の訪問で、とても感じの良い方に会ってもずっと会えないこともあり、最初でも連絡先を交換できそうならそうすべきかもしれないことを励まされた。

3. 聖書朗読 (4分) 格 3:1-18 (教励 第12課) 阿部 直生

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 宮城 ひかる 愛込 1-5 平山 優子

(3分) 家から家で。よくある反対意見に対応する。 ([愛込 レッスン1 ポイント5](#))

5. 会話を始める 金刺 由里子 愛込 3-3 中田 由美

(4分) 公共エリア伝道。jw.org を紹介し、コンタクトカードを渡す。 ([愛込 レッスン3 ポイント3](#))

6. 話 田中 克彦

(5分) [塔 11 3/15 14 ページ 7-10 節](#) 主題: 無関心な人が多い区域で伝道する時、神に頼る。 ([教励 第20課](#))

クリスチャンとして生活する

[124 番の歌](#)

7. エホバの組織への信頼を表す (15分) 討議。 滝 秀貞

聖書に書かれている指示を信頼することは、比較的簡単かもしれません。でも、エホバの組織で教え導く責任を与えられている人たちから指示を受ける場合はどうでしょうか。不完全な人間からの指示を信頼するのは難しく感じるかもしれません。指示の意図が分からなかったり、納得できなかったりするときは特にそうです。

[マラキ 2:7](#) 祭司の唇は知識を保つべきであり、民は祭司の口に律法(*指示)を求めるべきである。祭司は、大軍を率いるエホバの使者だからである。を**読む**。次の質問をする。

・エホバはご自分に仕える人たちを導くために不完全な人間を用いています。それが意外ではないのはなぜですか。

[マタイ 24:45](#) 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか。を**読む**。次の質問をする。

・エホバの組織からの指示を信頼できるのはなぜですか。

[ヘブライ 13:17](#) 皆さんを教え導いている(*皆さんの中で率先している)人たちに従い、進んで応じてください。その人たちは皆さんを見守っており、そのことに関して責任を問われることになります。それで、その人たちが喜んで働けるようにしてください。もし嘆きながら働くことになれば、それは皆さんのためになりません。を**読む**。次の質問をする。

- ・ 教え導く責任をエホバから任されている人たちの指示に従う必要があるのはなぜですか。



「2021 統治体からの話（9）」（抜粋）の[動画を再生する](#)。次の質問をする。

- ・ パンデミックの間に受けた指示によって、エホバの組織への信頼がどのように強まりましたか

8. 会衆の聖書研究 司会：浮田 蒼 朗読：長谷川貴史

(30分) [徹 23 章 9-15 節, 184, 186 ページの囲み](#)

閉会の言葉（3分） | [57 番の歌](#)と祈り

^ [\(格 3:1-35\)](#) わが子よ、私の教え*を忘れてはならない。私のおきてを心から守ってほしい。2 そうすれば、長く生きて平和な日々を送れる。3 揺るぎない愛と忠実さ*を手放してはならない。それを首に結べ。心に書き記せ。4 そうすれば、神と人から好意を得、深い洞察力があると認められる。5 心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え*に頼ってはならない。6 どんな道に行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる。7 自分は賢いと思ってはならない。エホバを畏れ、悪から離れよ。8 そうするなら、体*が癒やされ、骨が元気になる。9 あなたの貴重なもの、全ての産物*の初物*を捧げてエホバを敬え。10 そうすれば、あなたの倉は満杯になり、大おけ*は新しいぶどう酒であふれる。11 わが子よ、エホバの矯正*を拒否してはならない。その方の戒めを嫌悪してはならない。12 父親がかわいいわが子を戒めるように、エホバは愛する人を戒めるからである。13 知恵を得る人、識別力を身に付ける人は幸せだ。14 知恵を得ることは銀を得ることに勝り、それを手にするのは金を手にするよりも価値がある。15 それ